

「平成23年青森県の工業」について（概要）

平成24年経済センサスー活動調査（製造業）の青森県分について、「平成23年青森県の工業」として取りまとめました。

概要は以下のとおりです。

○調査対象期間

平成23年1月1日～平成23年12月31日
（調査日：平成24年2月1日）

○調査対象 県内すべての製造業事業所

（ただし、平成22年以前の「青森県の工業」と比較するため、集計対象は従業者数4人以上の事業所とした）

【概要】

平成24年経済センサスー活動調査（製造業（従業者4人以上の事業所））による本県の製造業は、事業所数、従業者数、製造品出荷額等及び粗付加価値額のいずれも前年に比べ減少した。

1 平成23年における本県製造業の動向

平成20年9月のリーマンショックによる後退からの持ち直し、平成21年半ばからの新興国向け需要増等により生産活動回復の兆しを見せていたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、主に太平洋側市町村の工場が被災したことにより、製造品出荷額等と粗付加価値額が大きく落ち込んだ。これは、本県市町村の中で事業所数が最も多い八戸市の被害が大きかったことが影響したものである。

なお、震災後2か月頃から被災工場の生産活動が徐々に再開され、一時大きく低下した鉱工業生産指数（平成17年基準）も100.0を上回るようになるなど、年の後半には震災前の水準をほぼ取り戻す動きとなった。

2 事業所数

前年比▲0.2%（▲3事業所）の1,558事業所で、平成21年から3年連続の減少となった。

産業別では、木材・木製品、家具・装備品、印刷等11業種で増加し、繊維、飲料・飼料、電気機械等12業種で減少した。

3 従業者数

前年比▲5.4%（▲3,107人）の54,912人で、平成20年から4年連続の減少となった。産業別では、木材・木製品、輸送用機械、印刷等10業種で増加し、食料品、電子部品、金属製品等14業種で減少した。

4 製造品出荷額等

前年比▲7.1% (▲1,075 億円) の 1 兆 4,032 億円で、2 年ぶりの減少となった。

産業別では、業務用機械、繊維、生産用機械等 7 業種で増加し、パルプ・紙、鉄鋼、食品等 15 業種で減少した。

5 粗付加価値額

前年比▲4.0% (▲278 億円) の 6,697 億円で、2 年ぶりの減少となった。

産業別では、非鉄金属、食料品、業務用機械等 14 業種で増加し、鉄鋼、パルプ・紙、生産用機械等 8 業種で減少した。

主要項目の状況 (従業者 4 人以上の事業所)

(単位：人、億円)

項目	実 数		増減差 (②-①)	前年比(%)
	平成 22 年 ①	平成 23 年 ②		
事業所数	1,561	1,558	▲3	▲0.2
従業者数	58,019	54,912	▲3,107	▲5.4
製造品出荷額等	15,107	14,032	▲1,075	▲7.1
粗付加価値額	6,975	6,697	▲278	▲4.0